

## ランチョンセミナー 20 [LS20]

日時：2026年4月10日(金) 12:00~13:00

会場：Room 10 会議室2 (マリンメッセ福岡B館)



第130回日本眼科学会総会 ランチョンセミナー20

# 遺伝性網膜疾患の未来を拓く —世界と日本におけるゲノム医療戦略—

## Pioneering the Future of Hereditary Retinal Disorders: Genomic Medicine Strategies for the World and Japan.

日時 2026年4月10日(金) 12:00-13:00

会場 Room 10(マリンメッセB館 2F 会議室2)



〈座長〉

### 西口 康二 先生

(名古屋大学大学院医学系研究科 眼科学分野)

遺伝性網膜疾患の診療においては、分子遺伝学の進歩を背景に、次世代シーケンサーを用いた解析が世界的に普及し、遺伝子パネル検査に加えて、より精緻な分子レベルでの評価が可能となっています。

国内でも、日本人に特徴的な遺伝的背景に関する知見の蓄積とともに、IRDパネルシステムを通じた遺伝学的検査の運用が進み、診療の中で分子情報が活用されつつあります。

今回こうした国内の取り組みと世界的な診断動向を踏まえ、遺伝性網膜疾患診療におけるゲノム医療について、お二人の先生方にご講演いただきます。

本セミナーが日常診療の一助となれば幸いです。多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。



〈講演1〉

### ゲノム医療で変わる 遺伝性網膜ジストロフィの診療：日本編

#### Genomic Medicine Changes the Practice of Hereditary Retinal Dystrophies: Japan Edition.

### 村上 祐介 先生

(九州大学大学院医学研究院 眼科学)



〈講演2〉

### 分子診断の発展 Evolution of Molecular Diagnostics

### Dr. Hwei Wuen Chan

(National University of Singapore)

共催：第130回日本眼科学会総会 / シスメックス株式会社

共催：シスメックス株式会社